



会 長	菅 義尚	副 S A A	山根 積
会長エレクト	鴨宮 弘宜	直前会長	久藤 孝仁
副 会 長	板場 英行	管理運営	坂田 武文
幹 事	宮本 和彦	会 員 組	堀越 賢二
副 幹 事	三好 静子	奉 仕	本庄 純夫
会 計	田中 幸俊	広 報	福本 博之
S A A	尾野 剛章	R財団米山	吉本きよ子

事務局 / 〒725-0026竹原市中央4丁目8-2第1おおぎビル102号  
 TEL/0846-22-7570 FAX/0846-22-7651 E-mail/rc-take@estate.ocn.ne.jp URL/www.takehara-rc.com/  
 例会日/毎週木曜日12:30~13:30 例会場/大広苑 TEL(0846)-22-2970

本日のプログラム 12月1日	次回のプログラム 12月3日
誕生祝・各会員各記念日祝 誕生日該当者会員卓話	忘 年 家 族 例 会

【 2016年11月24日 第2545回 例会記録 】

- ◆点 鐘
- ◆国歌斉唱
- ◆ロータリーソング：奉仕の理想
- ◆ゲスト：国際ロータリー第2710地区  
 ガバナー 田原 榮一様  
 随員幹事 副代表幹事 事務局長 河野 隆様  
 G9ガバナー補佐 安保 雅文様  
 補佐幹事 三谷 秀明様
- ◆会員数：36名（免除者：2名）
- ◆出席者：32名 ◆欠席者：2名
- ◆メイク：2名 ◆出席率：94.44%

各会員各記念日（12月）

- ◆会員誕生日 藤中 保 久藤 孝仁  
 堀越 賢二 板場 英行
- ◆結婚記念日 藤中 保 土居 敏昭
- ◆配偶者誕生日 西岡 一道
- ◆事業所創立 田中 幸俊 尾野 剛章

スマイルボックス

- ◆結婚記念日…中川
- ◆特別スマイル
  - ・ガバナー 田原榮一様
  - ・G9ガバナー補佐 安保雅文様
  - ・田原ガバナー公式訪問有難うございます。これからもご指導宜しくお願い致します。（菅 義尚）
  - ・聖恵文化祭が無事に終了しました。奉仕を感謝します。（川崎俊和）

ポリオ・プラス指定スマイル

- ・円山啓壮 ・吉本きよ子

ベネファクター指定クライング

- ・地区大会を体調不良にて急に欠席し田原ガバナー様、緒方実行委員長様に大変迷惑を掛けました。（円山啓壮）

贈 呈 式

- 田原ガバナーにプレゼンターをして頂きました。
- ◆連続51年100%出席 円山啓壮会員



- ◆マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 佐藤守幸会員



幹 事 報 告

幹事 宮本 和彦

- ・ロータリーレート12月より 106円
- ・例会終了後百合の間で集合写真、その後この会場でフォーラムを開催します。

## 会長の時間

会長 菅 義尚

本日はガバナー公式訪問の例会です。田原ガバナー、河野随行幹事、安保ガバナー補佐、三谷ガバナー補佐幹事ようこそお出で下さいました。よろしくご指導の程お願い致します。

先週はロータリー財団地区担当の福山東RC川本晏聖会員にロータリー財団についての卓話を頂きました。翌日、鴨宮会長エレクト、吉本ロータリー財団委員長と私が尾道国際ホテルで開催されたG9財団勉強会に出席致しました。23日の聖恵文化祭には多くの会員の出席有難うございました。また佐藤会員には飲み物もご提供頂きまして有難うございます。

12月3日は親睦委員会の御協力で忘年家族例会を開催します。国際交流ということで竹原市で英語助手をされているチママンズ・マルセルさん(カナダ23歳)、チュー・オスカーさん(イギリス23歳)、このお二人が出席されます。

また12月15日はがん予防啓発推進委員会主催で大田整形外科の大田和弘先生からお話を頂きます。鴨宮委員長宜しくお願い致します。

## 年次総会

細則第5条第1節により年次総会を開催。

細則第3条第1節により指名委員会から次の理事役員が指名され承されました。

2017-18年度理事役員

会長	鴨宮 弘宣
副会長	宮本 和彦
会長エレクト	板場 英行
直前会長	菅 義尚
幹事	井上 盛文
会計	田中 幸俊
理事	佐々木秀明
	久藤 孝仁
	大成 義彦
	尾野 剛章
	三好 静子

## ガバナー公式訪問

国際ロータリー第2710地区  
2016-17年度ガバナー  
田原 榮 一様



皆様こんにちは。2016-17年度のガバナー田原榮一でございます。ご存知のように今年はロータリー財団100周年です。御支援ご協力有難うございます。そして嬉しいことには「ロータリー財団100周年ポリオ撲滅まであと少し！」の横断幕を掲げておられます。厚く御礼を申し上げます。

さて、今日ここにクラブ公式訪問として輝かしい伝統を有する竹原ロータリークラブを訪問させて頂けることは大変光栄でございます。

これまで52年間、地域に根差したロータリー活動を展開されたことに対して心からの敬意を致したいと思います。

私の今日のガバナー公式訪問の目的は、会員の意欲を高め、クラブをサポートすることにあります。そこで先ず2016-17年度RI会長テーマと目標、そして私のガバナー信条と地区運営方針についても一度強調しますので、それらを理解して頂いて元気なクラブづくりに反映して頂きたいと存じます。このあとはフォーラムがございます。限られた議題について十分協議したいと存じますのでご協力をお願い致します。

ジョン・ジャームRI会長のテーマは“Rotary Serving Humanity”人類に奉仕するロータリーです。1月サンディエゴでこれを聞いた時に私は感動を覚えました。これは我々が何をすべきかを示しており、人類への奉仕は人生の最良の仕事であると絶賛のメールが寄せられています。

ジョン・ジャームRI会長は「人類の奉仕はロータリーの礎であり、ロータリーの一員であることは、最初に小さな機会と思えても、更に人類へのロータリー奉仕を通じてより良い世界を創る機会です。実は今、ロータリーは岐路に立っています。来年度はポリオ撲滅の可能性がありロータリーの歴史で最も重要な年を迎えます。同時にポリオ撲滅にロータリーが果たした役割をクラブを通じて地域社会に周知してもらい、ロータリー入会こそ世界を変える大きな機会であることを強調してください。そして社会貢献への熱意を持つ職業人が集うロータリー独自の力を生かせばポリオ撲滅の

様な大きな目標を達成することができます。ロータリーの前進には単にロータリアンの数を増やすことではなく、将来リーダーとなるロータリアンを増やすことです。「人類に奉仕するロータリー」の伝統を継承する名誉を与えられた私たちはこのような奉仕を行っていく責務があります」と述べられています。

またジョン・ジャームR I会長は昨年度と同じく5つの強調事項を提言されています。会員の増強と維持、財団への寄付、オンラインツールの利用、新世代そして公共イメージです。この5つの協調事項にはそれぞれ目標が掲げられ、その組み合わせが会長賞の受賞に繋がります。それにはマイロータリーの登録が必要ですので、マイロータリーへの登録を宜しくお願い致します。

ジョン・ジャームR I会長のテーマを受けて、「“ Vocational Service Only Brings About Happiness and Peace” 奉仕の中にこそ幸福(幸せ)と平和がある」と地区ガバナー信条を掲げました。このガバナー信条に掲げた奉仕はロータリーの目的である職業奉仕であり、その意図することは二つあります。一つは職業奉仕の実践強化であり、もう一つは、人類の最大の敵であるがんの予防推進であります。

職業奉仕の実践強化については21世紀に入り社会生活は目覚ましい進歩を遂げたにも拘わらず、道徳観の倒錯によって政治、経済、科学等の様々な分野で不祥事が頻発しております。それを防止するためには我々ロータリアンは何をなすべきでしょうか。

職業奉仕の理念を実践するための二つの行動指針を提起します。一つは「ロータリアンの行動規範」の遵法、もう一つは「四つのテスト」の言行であります。これらは職業倫理の高揚と人格の向上を惹起させ、究極的に我々に幸福(幸せ)を齎すからであります。まさにそれはポール・ハリスのいう「奉仕の生活」は「幸福の生活」を意味し、平和に繋がります。

がん予防の推進については2025年に大きな社会問題があることをご存知ですか。2025年、団塊の世代が後期高齢者となりがん難民の大発生(3人に2人ががんに罹り、がん死亡者4分の3が後期高齢者)について、ロータリアンひとり一人が危機感を持ちロータリーとして対策を立てる必要があります。

そこでロータリー戦略計画の重点分野「疾病予防と治療」に相当する「がん予防の普及推進」を3年間の地区戦略計画として設置、即ち地区奉仕プロジェクト委員会の中に「がん予防推進委員会」を設置しました。

その目的はロータリアンのみならず高齢者社会のニーズを満たす奉仕活動「がん予防の普及推進」を通じ、がんになっても安心して暮らせ、自己責任に基づく健康管理を目指す。具体的なものは二つあります。一つはタバコを止め、生活習慣を変

える。これは一次予防です。がん検診をして早期発見・早期治療する、これは二次予防であります。それによってもたらせる健康寿命の延長と健康経営学の推進です。皆さん、広島県が驚くことに健康寿命が非常に短いんです。喫煙、野菜の摂取量が低い、がん検診を受けない、メタボ検診を受けない等の理由が挙げられます。是非がん予防推進を特化することによって健康寿命に取り組んで欲しいと思います。

もう一つは職業スキルを生かした青少年へのがん教育です。強調したいことは、がん予防とがん教育は、健康に生きるための地域づくりであり、ロータリアン自身のみならず、家庭、職場、地域社会の人々の命を守り、さらにロータリーの将来を担う次世代の人達が健康に生きるために必要なことであります。国際ロータリー第2710地区が我が国で最もがん罹患率・がん死亡率が低く、早期発見・早期治療によりがんになっても、幸福な生活を過ごせる地区になるよう努力しようではありませんか。

ここでがん予防に関連して私のロータリーモーメントに触れてみたいと思います。

昭和16年肺結核症で父と私が枕を並べ闘病生活の末、父の死と引き換えに私は生き残りました。残された母と5歳の私は苦難の道を歩むことになりましたが幸いにも医学の道に進むことが出来ました。そして病理学者として58年間がん研究一筋に取り組み、得られた研究成果をがん医療に導入して、癌の確定診断である分子病理診断を実践するとともに多くの後継者を育成しました。そして昭和56年に広島中央ロータリークラブへ入会して、そこで「四つのテスト」に共感しました。嬉しいことに広島の財界、広島大学、医師会などの支援により、平成4年に財団法人広島がんセミナーを設立しました。以来25年間、毎年、国際シンポジウムの開催、がん予防の為の県民公開講座、若いがん研究者への支援等の事業に取り組んできたのであります。

このように今日までがんと闘う研究と事業に取り組んでこられたのは真摯に「がん」と向き合い、自分の生活の基盤となるロータリーの理念を実践した結果であり、もし広島中央RCに入会していなかったならば今日まで自分の職業スキルを生かした人道的な奉仕活動を継続することが出来なかったと云っても過言ではありません。まさにロータリーに感謝であります。

ここでポール・ハリスの著書「ロータリーの理想と友愛」の中で、「奉仕の理念の意味」の章において、ポール・ハリスが最初に引用したトーマス・カーライルの言葉を披露しましょう。19世紀イギリスの有名な歴史家であるトーマス・カーライルは「一生懸命誠実に一つのことを成し遂げようとする努力、それはこの世の初めから人間をとりまく病及び苦悩に対する偉大な療法である」と述べています。実は私のガバナー信条はここから由



来しているのであります。

次に8つの地区運営方針について説明します。

1) 永久にポリオ撲滅です。ポリオの撲滅までもう少しです。ここで我々が忘れてはならないことは、ポリオプラスの世界の提唱者は東京麹町RCの故山田先生、故峰先生のお二人です。我々日本人のロータリアンは誇りを持ってポリオプラス基金の寄付のみならず、ポリオ撲滅の為の募金活動を展開して頂きたいと各クラブへお願いしているのであります。

2) 「ロータリアンの行動規範」の遵法。「四つのテスト」のみならず例会での唱和を推奨します。ロータリアンの行動規範はロータリアンのバイブルです。

3) 「四つのテスト」は職業生活のみならず自身の日常生活にも言行して頂きたいと思えます。

4) ロータリー戦略計画の理解に努め、クラブ戦略計画委員会を設置し、クラブ独自の戦略計画を立ち上げ、クラブレベルで実践しましょう。特に重点分野の奉仕活動に取り組みましょう。

5) 会員維持・会員増強。各クラブが戦略目標を作り、クラブ及びロータリアンひとり一人が真摯に取り組みましょう。

6) 重点分野「疾病予防と治療」に相当する「がん予防の普及推進」を、ロータリアン自身のみならず、家庭、職場、学校、地域社会で実践して頂きたいと思えます。一次予防は禁煙啓発運動・食生活改善普及推進、二次予防は検診受診率の向上と早期治療、青少年に対するがん教育の推進です。ガバナー補佐は「地区がん予防推進委員会」のコーディネーターとして活躍されています。すべてのクラブでがん予防委員会を設置され、IMでは全てががん予防に関連したテーマであることを知り嬉しく思っています。

7) ロータリー公共イメージの向上に取り組もう  
ロータリーとは何か、ロータリーは何をする団体か、なぜロータリーは大切かをロータリアン自身が十分理解して公共イメージの向上に取り組んで頂きたいと思えます。

8) 「ヒロシマの平和」の発信

2710地区は平和推進地区であります。我々は広島  
の平和を推進、伝道する義務があります。広島の  
平和の理念は「戦争のない平和、核兵器のない平  
和」です。5月27日アメリカのオバマ大統領が  
歴史的な広島訪問をされました。以来多くの方  
々が広島を訪問されています。

ロータリー112年の歴史の変遷をみますと、20  
世紀のロータリーは“内なる奉仕—職業奉仕”、  
21世紀では“外なる奉仕—グローバル化”へと  
変遷しています。このたびジョン・ジャームR I  
会長が「人類に奉仕するロータリー」というテー  
マを掲げ、それを受けてガバナー信条を「奉仕の  
中にこそ幸福(幸せ)と平和がある」と掲げました。  
その二つの根本となすものはローマ時代のユウェ  
ナリスの理念「健全な精神は健全な身体に宿る」

と同じであります。どうぞユウェナリスの理念を  
ご理解頂き、クラブが掲げられた目標に邁進され、  
見事に達成されますことを心から期待し、私の卓  
話を終わらせて頂きます。ご清聴ありがとうございました。



## フォーラム

例会終了後にフォーラムを開催し次の4つの質問事項について田原ガバナーのお考えを聞かせて頂きました。

- 職業奉仕の実践強化 (藤中職業奉仕委員長)
- 元気なクラブづくりのための戦略計画と会員維持・会員強化 (佐藤会員増強委員長)
- がん予防の取り組み (鴨宮会長エレクト・がん予防啓発推進委員長)
- ポリオ撲滅を含むロータリー財団100周年記念事業の遂行 (吉本R財団委員長)

出席者は田原ガバナー、安保ガバナー補佐、河野  
随行幹事、三谷ガバナー補佐幹事、菅会長、板場  
副会長、鴨宮会長エレクト、宮本幹事、円山、佐  
渡、市川、藤中、本庄、佐藤、吉岡、中川、吉本、  
木村、夜船、三好、小坂、田中、井上、尾野会員。



11月23日(水) 聖恵文化祭ボランティアに参加